

広報誌

てどり

公立つるぎ病院
80周年記念誌を発行しました。



人にやさしい医療を



公立つるぎ病院
病院長
高澤 和也

当病院は、昭和15年(1940年)に旧根上町の加賀病院の姉妹病院「加賀東病院」として誕生し、昭和48年に公立鶴来総合病院に改称。この時より小生で8代目の病院長となります。

昭和52年：へき地中核病院、平成18年：回復期リハビリ病棟の開設、平成29年：地域包括支援センターを受託。一貫して人にやさしい・五感(視・聴・触・香・味)にやさしい医療をおこない、獅子吼高原・手取川や日本海を見渡せる風光明媚なこの地で、心身の回復を目的にリハビリを365日提供しています。ゆっくりと患者さんに寄り添える事で心温まる医療がおこなえると信じています。

今後も、地域のご支援と当企業団の協力のもと、牛歩であっても伝統に基づき着実な変革を進めていきたいと考えます。

基本理念

私たちは、みなさまの健康な生活を支えるために

- 期待にこたえられる良質な医療・介護に努めます
- 安心・安全で信頼される医療に努めます
- 切れ目のない包括的なケアに努めます



第1章 部門紹介



快活な医療・介護サービスを提供している
当病院スタッフをご紹介します。

第2章 80年のあゆみ



当病院が10年たつたり、歩み続けてこれたのは、
みなさまの愛と信頼を支えられているからです。
そのおかげでも進んでいます。

第3章 資料編



国内外の多くの方に支えられ、
さまざまな取り組みを遂げていく中で、
当病院の院内風土が醸成されていく中で、
その背景を振り返ります。



